

城ヶ岳



令和4年10月21日
第20号
佐世保市立宇久中学校
校長 萩山 栄二

●学校教育目標 「ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒」

●教育理念 「磨く」「輝く」「光る」「子どもは『希望』である」

< 10月の行事 >

■10月に行われた行事を順に紹介します。

- 4日「なぎなた踊り披露」
- 6日「国語研究授業」1年生
- 12日「佐世保市中学校体育大会駅伝競走」
- 14日「ふるさと歴史発見事業」1年生
- 17日「実力テスト」3年生
- 18日「実力テスト」3年生
「理科・食育研究授業」2年生
- 19日「お魚教室」
- 21日「学校開放日」「宇久高校学校説明会」

子供たちは一つ一つ行事の丹念に取り組んできました。しかし、立て続く行事に子供たちも疲れが見られます。10月は行事が目白押しで、残るは27日(木)「花植え美化活動」「睡眠講話」、そして最後を飾るのが30日(日)に実施する「文化発表会」です。文化発表会が一つの区切りとなりますから、当面の目標は「文化発表会」を乗り切ることです。学校でも子供の状況をしっかりと把握しながら最後まで頑張っ、今できる中で一番のことを披露できるようにしたいと考えています。

■中国の唐王朝第二代皇帝太宗の言葉と、太宗が臣下と話し合った議論などが書かれている『貞観政要』という本に次のことが書いてありました。「そもそも、人間本来の性質は誰でも似たようなものですが、心はそれぞれ違います。だから、学問をして心を磨き、本来の性質を完成させなければなりません。『礼記』は、『玉は磨かなければ器にならず、人は学ばなければ道を知らず』と言っています。したがって古人は学問に励むことを、立派な美徳と称えたのです」学校で学ぶことを通して磨かれている今、ご家庭でも温かい励ましをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

< ふるさと歴史発見事業 >

■佐世保市教育委員会文化財課の松尾秀昭様を講師に迎え、「ふるさと歴史発見事業」を開催しました。島内を7か所めぐり、新たな発見をすることができたようです。ふるさと宇久を知ることができた良い機会でした。



< お魚教室 >

■19日(水)の家庭科の時間に宇久漁業集落青年部の方々に来ていただいて、「お魚教室」を実施しました。「いさき」を三枚におろす手順を実際に見せていただいた後、子供たちは各自「いさき」を三枚におろしました。戸惑いながらも、漁礁集落の方々に手ほどきを受けながら、無事三枚におろすことができました。そのあとは「いさきのホイル焼き」を創りました。一度やってみることで、体験や経験することが子供たちには必要です。宇久漁業集落青年部の皆さま、ご指導ありがとうございました。そして、さわらの刺身や魚でだしを取ったみそ汁、いさきのホイル焼きを子供たちだけでなく、職員もいただくことができました。ご指導ならびにご協力ありがとうございました。



< 11月の行事 >

- 1日(火) 少年の日
- 2日(水) 薬物乱用防止教室
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) 振替休業日(10/30)
- 8日(火) スクールコンサート
- 9日(水) 3年生三者面談 ※11日(金)まで
- 10日(木) 小中高駅伝大会
- 12日(土) 青少年の主張大会
- 15日(火) 佐世保市中学校音楽発表会
- 17日(木) 第2回定期テスト ※18日(木)まで
- 19日(土) 食育の日・徳育の日
- 20日(日) 家庭の日
- 21日(月) 黒島中オンライン交流
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 避難訓練



< ひとりごと >

■最近朝晩の寒暖差が大きくなってきました。秋も深まりを見せ始めているようです。秋は「体育の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」、様々な呼び方があります。自分は「〇〇の秋」の中に何を入れるだろうと思いました。「読書の秋」としたいところですが、最近なかなか本のページが遅々として進まない感じです。今読破しようと読んでいるのは作家塩野七生さんの『ローマ人の物語』です。読み終えることができるようにと思っていますところ。『〇〇の秋』を皆さんも見つけて、秋の夜長を過ごしてほしいものです。

■10月27日(木)から11月9日(水)までの2週間が『2022 こどもの読書週間・読書週間』となっています。標語は次のとおりとなっていますので紹介します。



こどもの読書週間
「ひとみキラキラ 本にどきどき」
読書週間
「この一冊に、ありがとう」